

資料5

「薬学系人材養成の在り方に関する検討会」

(第11回) H24.3.19

平成24年1月30日

全国薬系大学学長、薬学部長殿

文部科学省 薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に関する専門研究委員会
日本薬学会 薬学教育モデル・コアカリキュラムおよび実務実習モデル・コアカリキュラムの改訂に関する調査研究委員会

薬学教育モデル・コアカリキュラムの改訂に関するアンケート

現在の薬学教育モデル・コアカリキュラムについては、新薬剤師養成問題懇談会の場や各大学への基礎データ収集の中で、改訂に対する要望が寄せられています。それを受けて、平成23年5月に開催された薬学系人材養成の在り方に関する検討会で議論が行われ、薬学教育モデル・コアカリキュラムの改訂を行うことが決定しました。今回の改訂の検討体制については、検討会の下、薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に関する専門研究委員会が別紙1のとおり設置され、同年9月より検討が開始されました。さらに、具体的な作業チームとして大学における医療人養成推進等委託事業としての調査研究が日本薬学会に委託されたところです。

現行のモデル・コアカリキュラムに関しては、平成18年の6年制薬学教育の開始に先立ち、平成14年4月に日本薬学会が主導して薬学専門教育に関わる内容を中心として、「薬学教育モデル・コアカリキュラムおよび卒業実習カリキュラム」が作成され、次いで、文部科学省が主導して、「実務実習モデル・コアカリキュラム」が作成されました。

専門研究委員会では、今回の改訂において、1) 日本薬学会の作成した「薬学教育モデル・コアカリキュラム」及び文部科学省の作成した「実務実習モデル・コアカリキュラム」が合本とされているものを一本化する（表現や観点などを揃える）こと、2) その内容については6年制薬学教育を対象とすることについて合意が得られ、薬学系人材養成の在り方に関する検討会においてその方向性は了承を得ています。

更に専門研究委員会において「薬剤師として求められる基本的な資質（たたき台）」（別紙2）を策定し、それに基づいて薬学教育モデル・コアカリキュラムを見直すという改訂の方針を検討しています。検討中の改訂に向けた考え方（案）とモデル・コアカリキュラム大項目（案）は、別紙3、4にそれぞれ図示しました。

今回の改訂に関しまして、全国の薬系大学を対象に以下のアンケートを実施します。

同文のアンケートはメールにても送信しています。恐れ入りますが、2月末日までに添付のワードファイルに回答をご記入のうえ、お送りしたメールへの返信にてご回答ください。

なお、本アンケートにつきましては、教育に責任のある方がなるべく大学の意見をまとめてご回答ください。回答いただいた内容につきましては、各大学にお知らせするとともに、3月に開催予定の日本薬学会第132年会のシンポジウムでも発表する予定です。

質問の項目（回答欄は設けませんので、質問項目の後ろに、質問番号ごとに回答を記入してください）

大学名（ ）
回答責任者名（ ）

- 1) 現在、薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に関する専門研究委員会においてコアカリ改訂の方針について検討を行っているところです(別紙2～4参照)。コアカリ改訂の進め方など、方針についてのご意見をお聞かせください。
- 2) 現行のコアカリについて問題点があるでしょうか。改訂すべき点があれば簡潔に書いてください。
- 3) 2) で指摘された内容について、具体的にコアカリをどのように改訂することが望ましいでしょうか。
- 4) その他、コアカリ改訂全般に関して、ご意見があればお聞かせください。

今回

薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂の体制について

前回

薬学モデル・コアカリキュラムの改訂等を決定する組織(薬学系人材養成の在り方に関する検討会)

決定 ↓ ↑ 報告

薬学モデル・コアカリキュラムの改訂の原案・方針の作成等を行う組織
(薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に関する専門研究委員会)

- ・基本理念と位置づけ
- ・薬剤師として求められる基本的な資質の検討
- ・資質とGIO・SBOとの関連性の整理等
- ・モデル・コアカリキュラムの「A～Oの」項目立て

委託 ↓ ↑ 報告

薬学モデル・コアカリキュラムの改訂等に関する「調査研究チーム」

(薬学教育モデル・コアカリキュラムおよび実務実習モデル・コアカリキュラム改訂に関する調査研究委員会に設置)

- ・アンケート調査(ニーズ調査)
- ・GIOsとSBOsの具体的な作成等

文部科学省

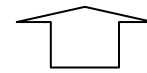
日本薬学会

薬学教育モデル・コアカリキュラム合本

薬学教育モデル・コアカリキュラム

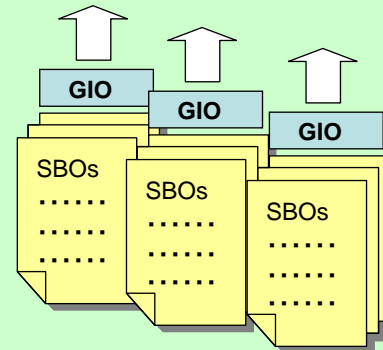
+

実務実習モデル・コアカリキュラム



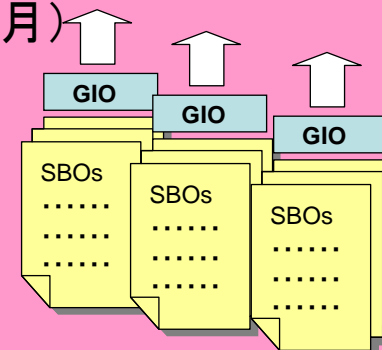
日本薬学会

薬学教育カリキュラムを検討する協議会
「薬学教育モデル・コアカリキュラム」(平成14年8月)



文部科学省

薬学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議
「実務実習モデル・コアカリキュラム」(平成15年12月)



薬剤師として求められる基本的な資質(たたき台)

豊かな人間性と医療人としての高い使命感を有し、生命の尊さを深く認識し、生涯にわたって薬の専門家としての責任を持ち、人の命と健康な生活を守ることを通して社会に貢献する。

6年卒業時に必要とされている資質は以下の通りである。

(薬剤師としての心構え)

薬の専門家として、豊かな人間性と生命の尊厳について深い認識をもち、人の命と健康な生活を守る使命感・責任感を有する。

(患者・生活者本位の視点)

患者およびその家族の秘密を守り、薬剤師の義務、医療倫理及び法令を遵守するとともに、常に患者・生活者の立場に立って、これらの人々の安全と利益を最優先する。

(コミュニケーション能力)

患者・生活者、他職種から情報を適切に収集し、これらの人々に有益な情報を提供するためのコミュニケーション能力を有する。

(チーム医療への参画)

医療機関や地域における医療チームに積極的に参画し、相互の尊重のもとに薬剤師に求められる行動を適切にとる。

(基礎的な科学力)

生体および環境に対する医薬品・化学物質等の影響を理解するために必要な科学に関する基本的知識・技能・態度を有する。

(薬物療法における実践的能力)

患者の様々な病態における薬物療法を総合的に評価し、医薬品の供給、調剤、服薬指導、処方設計の提案、安全性や有効性を担保する等の薬学的管理を実践する能力を有する。

(地域の保健・医療における実践的能力)

地域の保健、医療、福祉、介護および行政等に参画・連携して、地域における人々の健康増進、公衆衛生の向上に貢献する能力を有する。

(研究能力)

薬学・医療の進歩と改善に資するために、研究を遂行する意欲と問題発見・解決能力を有する。

(自己研鑽、専門性の涵養)

薬学・医療の進歩に対応するために、医療と医薬品を巡る社会的動向を把握し、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を有する。

(教育能力)

次世代を担う人材を育成し、これを通して自らが成長する意欲と態度を有する。

薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に向けた考え

— 基本的な資質に基づいたコアカリキュラムの改訂 —

薬剤師として求められる基本的な資質(たたき台)

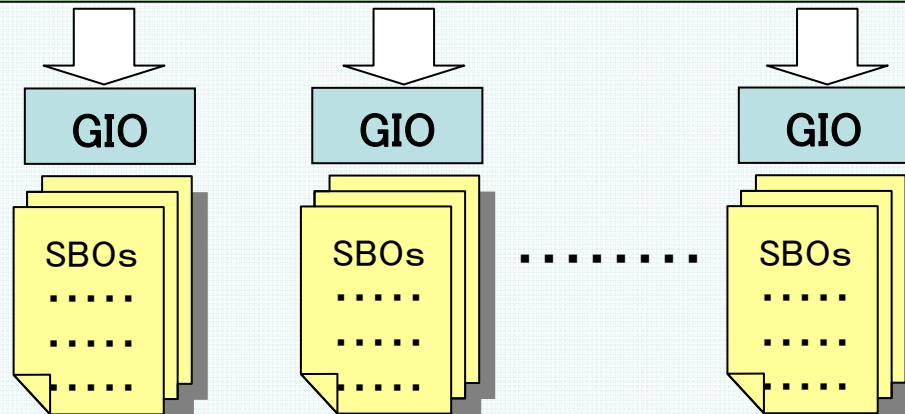
- ① 薬剤師としての心構え
- ② 患者・生活者本位の視点
- ③ コミュニケーション能力
- ④ チーム医療への参画
- ⑤ 基礎的な科学力
- ⑥ 薬物療法における実践的能力
- ⑦ 地域の保健・医療における実践的能力
- ⑧ 研究能力
- ⑨ 自己研鑽、専門性の涵養
- ⑩ 教育能力

薬学教育と実務実習モデル・コアカリキュラムの一本化

薬学教育モデル・コアカリキュラムの大項目(案)

- | | | |
|--------|-------------|----------|
| A 基本事項 | C 薬学基礎教育 | E 薬学臨床教育 |
| B 導入教育 | D 医療・衛生薬学教育 | F 薬学研究 |

薬学教育モデル・コアカリキュラムの中項目



モデル・コアカリキュラム大項目（案）

現行

